

# 平成28年度 北海道音更高等学校 学校評価書

学校関係者評価委員	学校評議員
-----------	-------

## 1 本年度の学校経営方針・重点事項など

1	学校経営方針	「生徒・保護者・地域の期待に応える活力ある学校の創造を目指す」
		(1) 協働体制の確立による、教育活動の改善・充実に努める。 (2) 計画的な校内研修による、資質と指導力の向上に努める。 (3) 普通科単位制の趣旨を周知し、円滑な移行に努める。 (4) 閉科する定時制農業科の教育活動の充実に努める。
2	重点推進事項	「一人ひとりの自己実現を目指して」
		(1) 学ぶ意欲や基礎的な知識・技能、思考力・判断力など、学力の向上を目指し、分かる授業を追求する。 (2) 自己指導能力や倫理観・規範意識の向上を目指し、教職員と生徒相互の信頼関係を構築する。 (3) 進路希望の実現や望ましい勤労観・職業観の醸成を目指し、個性や能力に応じてきめ細かく対応する。 (4) 基本的な生活習慣を確立はもとより、他を思いやる心など、豊かな心や健やかな体の育成を目指し、生徒自らの心身を鍛える。

## 2 自己評価結果

A(4.0～3.5)：十分 B(3.5～2.4)：概ね十分 C(2.4～1.5)：やや不十分 D(1.4～1.0)：不十分

領域	評価項目	評価の観点	自己評価・改善の方策			評価委員 評価	
			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	達成状況	取組の適切さ
経営・管理	運営組織	1 校務分掌組織は有効適切か	3.2	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの活用や組織運営の工夫を通して、業務の効率化を図る。</li> <li>・複数体制で業務を行うことでOJTを機能させ、教職員の資質・能力の向上を図る。</li> <li>・教職員のメンタルヘルスに細心の注意を払う。</li> <li>・コンプライアンスを一層高める。</li> <li>・HPの定期更新等により、外部への情報提供を積極的に行う。</li> <li>・懇談機会の設定や行事への参加に積極的に努め、家庭、地域との連携を深める。</li> <li>・地域のニーズや進路動向の変化等に対応するため教育課程の検討を継続する。</li> </ul>	3.7	A
		2 分掌組織機能の適切さ	3.2	B			
		3 所属分掌の前評価にもとづいた実践	3.2	B			
		4 校務の情報化の進展	3.0	B			
		5 職員会議の円滑かつ有効実施	3.2	B			
	教職員	6 職場環境の望ましい人間関係	3.1	B			
		7 OJT(On-the-Job Training)の機能	2.9	B			
	連携	8 保護者への情報提供	2.9	B			
		9 保護者の理解・協力	2.8	B			
		10 地域関係機関との連携	3.2	B			
		11 教職員の電話対応、接遇マナー	3.1	B			
	施設設備	12 施設設備の維持管理や補充・補修	3.2	B			
		13 責任保守点検、施錠、整理整頓	2.9	B			
		14 防犯対策の整備、周知	3.1	B			
	教育課程	15 編成方針・手順に対する共通理解	2.8	B			
		16 生徒、保護者、地域のニーズへの配慮	2.8	B			
(学校関係者) 評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等をうまく活用しており、生徒の日常の活動の様子を知ることができた。今後はHPの活用をすすめ、地域への情報発信を更に充実させる必要がある。</li> <li>・農業科の教育成果を新しい教育課程に活かし、特色ある学校づくりを更にすすめて欲しい。</li> </ul>					
学習指導	年間指導計画	17 指導計画の具体化	3.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケートの結果を分析し、授業改善を行うことで「わかる授業づくり」をすすめる。</li> <li>・教科・学年による課題学習の計画化、家庭学習推進活動を実施する。</li> <li>・北海道高等学校学力テスト等の活用による学力実態把握を活かし、どこを伸ばし何を改善すべきかの明確化に努める。</li> <li>・学習意欲の向上を促し、説明責任を果たす学習評価方法の研究を更に進める。</li> </ul>	3.4	B
	教材	18 教材の精選	3.0	B			
		教科指導	19 生徒の実態に即した指導	3.2			
	20 十分な準備にもとづいた授業		3.0	B			
	評価	21 評価の観点や方法、基準明示、資料整備	2.9	B			
		確かな学力	22 個に応じた学習指導	3.0			
	23 生徒主体のわかる授業の取組		3.0	B			
	24 言語活動を意識した授業展開		2.9	B			
	学習習慣	25 基礎基本の徹底と学力の定着	2.8	B			
		26 授業規律の確立	2.9	B			
27 家庭学習の推進		2.5	B				
28 授業規律に係る指導		3.0	B				
評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別授業により、生徒がやればできると感じながら、学習できるのはよい。習熟度別授業の評価についてわかりやすく説明する必要がある。</li> </ul>					

生徒指導	指導体制	29 問題行動の予防・発見・対応・再発防止計画的実行	3.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さなトラブルを見逃さないように情報の共有化を図り、組織的に対応することで生活規律の向上に努める。</li> <li>教職員全体での共通理解を図り日常的に協同的な指導体制による取り組みを行う。</li> <li>定期的なアンケート・面談の実施や子ども理解ツールほっとの活用等を更に充実させ、いじめの未然防止、早期発見、解決に努める。</li> <li>より組織的なネットパトロールの実施によりネットトラブルへの注意を強化し、未然防止、早期発見・解決に努める。</li> </ul>	3.5	A
		30 共通理解、組織的対応	2.8	B			
		31 HR担任への指導負担の偏り	2.9	B			
		32 生徒指導部への指導負担の偏り	3.0	B			
		33 地域の教育機関や関係機関との連携	3.0	B			
	生徒理解	34 諸調査の実施、結果の活用	2.9	B			
		35 必要に応じた組織的な教育相談体制	2.9	B			
	生徒指導	36 服装、身だしなみ、言葉遣い、挨拶指導等の徹底	2.7	B			
		37 問題行動の早期発見・予防指導の実行	3.1	B			
		38 問題行動対応、事後指導	3.1	B			
いじめ防止	39 いじめの早期発見・予防対策	3.2	B				
	40 いじめ関係生徒への対応、事後指導	3.2	B				
評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>町内でみかける生徒は服装もきちんとしており、生活態度の向上がみられるので、今後も継続した指導を行って欲しい。</li> <li>教育相談や個人面談等を充実させ、生徒理解を深めた指導を更に行って欲しい。</li> </ul>					
進路指導	指導体制	41 3カ年を見通した各学年計画の作成	2.9	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「総合的な学習の時間」を活用したキャリア教育の充実を図り、実行性のある取組を行う。</li> <li>積極的な進路相談員や講師招聘など外部機関を活用するとともにきめ細やかな進路指導を行う。</li> <li>職業観育成のため2年次生生徒全員のインターンシップ体験を実施する。</li> </ul>	4.0	A
		42 諸調査結果等、具体的な資料を用いた個に応じた指導	3.0	B			
		43 進路指導についての共通理解と協働体制	3.0	B			
		44 分掌と学年の連携	3.1	B			
	指導の実態	45 生徒の進路意識や目的意識を高める指導	2.9	B			
46 補習・講習等希望実現への援助活動		3.0	B				
		47 進路希望実現への成果	3.1	B			
評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>進学者も含め、将来的な就職を見据えた職業観の育成が大切である。</li> </ul>					
健康安全指導	健康・美化	48 計画的健康安全指導、健康調査・相談	3.2	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教室実施内容を工夫し、生徒の健康安全に関する意識を高め、自己管理能力育成する。</li> <li>業務継続計画を定期的に見直し、災害時の基本的対応を周知徹底する。</li> <li>日常的な職員室、準備室の整理整頓を行うことから学校全体の環境美化意識を高める。</li> </ul>	3.5	A
		49 生徒の環境美化意識の高揚、清掃活動の指導	3.1	B			
		50 職場環境日常的整備、生徒美化意識向上への率先垂範	3.1	B			
	安全・防災	51 生徒の防火・防災意識指導や訓練	3.2	B			
		52 交通安全意識を高める指導	3.1	B			
		53 防災規定や危機管理マニュアルの周知	3.0	B			
		54 事故発生からの迅速な連絡・報告や事後処理	3.1	B			
評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>事故を未然に防止できるように危機管理能力を更に高めて欲しい。</li> </ul>					
特別活動 ・学級・学年	生徒会	55 積極的な参加と協力による生徒会活動	2.9	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の自主的な活動が助長されるよう指導を工夫し、生徒一人ひとりが積極的に参加できる雰囲気醸成を図る。</li> <li>定時制農業科が行ってきた「花と緑の活動」を普通科で行い、地域の一員としての自覚と広い視野を育み、地域社会に貢献する人材育成に努める。</li> </ul>	3.7	A
		部活動	56 部活動の充実	3.1			
	学校行事	57 地域や学校の特色を活かした学校行事の推進	3.0	B			
		58 創意を生かし、調和に配慮した行事計画	3.0	B			
	学級・学年	59 年間計画にもとづいた適切なLHR活動	3.1	B			
		60 学級経営の協働体制の構築	3.1	B			
		61 学年経営の協働体制の構築	3.1	B			
評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>農業科が行ってきた活動を普通科が引き継ぐことで、今まで以上に地域と連携した活動を実施して欲しい。</li> </ul>					